

授業科目名・形態	老年看護方法論Ⅱ 演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	渡邊知子・小玉光子・工藤智美	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

老年期特有の健康問題の特徴を理解し、高齢者の自立支援に向けた看護の方法について学びを深める。また、人生の最終段階にあり、多様な背景をもつ高齢者とその家族を尊重した看護援助について理解を深める学習とする。

【到達目標】

1. 老年期に特有の健康障害の特徴を理解し、健康障害をもつ高齢者と家族の看護援助について説明できる。
2. 人生の最終段階にある高齢者の尊厳ある看護援助について説明できる。
3. 高齢者の健康増進のための活動と援助の実際を理解できる。
4. 地域の多様な場における高齢者への看護援助と多職種連携の意義を説明できる。

【授業計画・内容】

第1回	地域包括ケアにおける老年看護（生活・療養の場における看護）	（工藤）
第2回	褥瘡のアセスメントと看護①	（小玉）
第3回	褥瘡のアセスメントと看護②	（小玉）
第4回	高齢者の皮膚障害とスキンケア	（小玉）
第5回	認知機能障害のある高齢者の看護①（うつ・せん妄）	（工藤）
第6回	認知機能障害のある高齢者の看護②（認知症の分類・症状、治療）	（工藤）
第7回	認知機能障害のある高齢者の看護③（認知機能の評価と看護）	（工藤）
第8回	治療を必要とする高齢者の看護①（検査・薬物療法）	（渡邊）
第9回	治療を必要とする高齢者の看護②（手術療法）	（渡邊）
第10回	高齢者の骨折と看護	（渡邊）
第11回	高齢者の感染と看護	（渡邊）
第12回	高齢者のエンドオブライフケアと意思決定支援	（渡邊）
第13回	高齢者の介護予防とプログラム	（工藤）
第14回	老年期にある人の看護過程の展開①	（工藤）
第15回	老年期にある人の看護過程の展開②	（工藤）

【授業実施方法】

講義形式、及びグループワーク、演習により行う。

【授業準備】

関連科目を復習し、授業内容に関連した教科書の範囲はあらかじめ目を通し授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「老年看護学方法論Ⅰ」「エイジング論」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「リハビリテーションと看護」「老年看護学福祉実習」

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版, 医学書院, 2022

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 第5版, 医学書院, 2022

【参考文献】

ナーシンググラフィカ：改訂巻「高齢者の健康と障害」、「老年看護の実践」, メディカ出版, 2021

日本老年医学会編集：改訂版 健康長寿診療ハンドブック, (株)メジカルビュー社, 2019

山田律子/内ヶ島伸也：生活機能から見た老年看護過程,病態・生活機能関連図, 第4版, 医学書院, 2020

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題提出、及び授業への取り組み姿勢等 15%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院での実務経験と地域（在宅・施設）における高齢者と家族の支援を活かし、多様な場で様々な健康レベルにある高齢者への介入事例を交えながら、学生の関心と理解を高められるように伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

授業は3年次の臨地実習の基盤となるものです。病院はもとより施設や在宅など多様な場にいる高齢者とその家族に心を寄せ、社会の動向や高齢者を支える制度等にも関心をもって授業に臨みましょう。